岐阜県大垣市について

18T2068A 佐竹柊路

　私のゆかりのある町は岐阜県大垣市です。この土地は最近では「聲の形」という作品で有名になりました。そんな場所を紹介しようと思います。

# 過ごしやすい環境

大垣市は何より、水がとてもきれいな場所です。川を見ても色が透き通っていて、そこに住むたくさんの鯉がよく見えます。水道水をそのまま飲んでもおいしく感じますし、その水のきれいさを生かして作られたお菓子や紙なども存在します。その水をきれいに保つため、小学校や地域の活動、ボランティアなどで川の清掃作業なども行われていて、生活環境に対する意識も高まります。

また、大垣市では子ども医療費助成制度というものがあり、18歳になって初めての3月31日まで医療費が安くなります。子どもは学校などで遊んですぐに怪我をするので、普通ならとても医療費がかかりますが、大垣市ならその負担を減らすことができます。その払わなくて済んだお金を違うことにまわせるので、親さんにありがたい市だと思います。

そして、私の実家の近くにはスイトピアセンターという建物がありました。この建物はとても大きな図書館があり、勉強や読書、何らかの作業を集中して行いたい人向けの静かな部屋、講演会や演劇、映画など様々な目的に使えるホールが複数あり、大垣市の歴史なども分かり、研究機関を取り除いた大学のようなものです。自習室もいくつかあり、高校生の頃遅くまで、よく勉強していました。スイトピアセンターには子供から高齢者まで多くの人がそれぞれの目的で利用しています。この建物があることによって地域住民の生活がよいものになっていると思います。

# 楽しむもの

　私はスイトピアセンターに行ってよく遊んだものが２つあります。１つは水のパビリオンという施設です。名前にもある通り、水を使い、子供が楽しめるように作られています。世界地図が描かれた3トンもの重さの丸い石を水の力で簡単に動かすことができたり、巨大なシャボン玉の中に自分が入ったり、水で虫眼鏡を作ってみたり、水の凄さが実感できます。もう1つはコスモドームという施設です。ここでは映像を見ることができます。見に行った季節によって違う映像が上映されるので、1回来た人でもまた飽きずに楽しむことができます。また、季節の映像だけでなく、プラネタリウムも見ることができます。そして、この施設の1番の特徴はスクリーンがドーム状になっているということです。つまり自分の正面だけでなく、真上はもちろん、施設全体がスクリーンになっています。他では味わえない魅力に引き付けられると思います。

　スイトピアセンター以外には大垣公園や大垣まつりなどがあります。大垣公園はとても広く、市内で1番古いといわれている公園です。敷地内には滑り台やうんていなどの遊具をトンネルや迷路などで繋げ、1つの大きな遊具となった複合遊具や、巨大なブランコ、サッカーができるほどの広く平らな土地があります。平日休日関係なくいつも誰かが遊んでいて、とても賑やかな場所です。また、大垣公園のすぐ隣には関ケ原の戦いで石田三成の本拠地となった大垣城があります。大垣城は全国的にも珍しい4層の天守閣をもち、その天守は旧国宝に指定されていました。1度は戦いによって燃えてしまいましたが、1959年に再建され、今では「城下町・大垣」のシンボルとなっています。

大垣城や大垣公園は年中利用できますが、冬になるとイルミネーションが装飾されます。公園内の多くの木や、柵など全てに付けられ、かなり大規模です。また、大垣城は緑色にライトアップされます。遠くから見ることもできますが、真下から見上げる大垣城は迫力が全然違います。その他にも中学や高校、企業などの各団体で作られたイルミネーションの造形物が展示されます。去年見た中ではふなっしーや大垣市のマスコットキャラ、ピカチュウなどもありましたし、木材を使い1から自分たちで形を作り、光を灯しているようなものもありました。とてもきれいなので、記念写真を撮り、年賀状にする人も多いようです。

次に大垣まつりについてです。このまつりは平成28年12月1日にユネスコ無形文化遺産に登録されました。屋台などは他の祭りとあまり大差はないかもしれませんが、規模がとても大きいです。屋台と屋台の間の隙間は全くなく、道路の端が完全に埋め尽くされていますし、道路の真ん中も大量の人で身動きが取れません。それほど盛り上がるお祭りです。また、大垣まつりで有名なのは全国的にも希少な形態のヤマです。そんなヤマの中にはからくりが仕掛けられているものもあり、様々な種類が存在します。ヤマは午前中は道路をずっと渡っていますが、最終日の夜になると広場に全てのヤマが集合し、夜営が始まります。最大13両ものヤマで行うので見ていて圧巻です。そして、大道芸人やダンスサークルなど様々な団体が出し物を見せてくれることがあります。前回大垣まつりに行ったときは炎を使ったジャグリングや手品を見せていただいて、とても盛り上がりました。

# 大垣市の伝統文化

　先ほどのヤマが大垣の代表的な伝統だと思いますが、もう1つ、松尾芭蕉が「奥の細道」の旅を終えた場所が大垣です。そのため、奥の細道むすびの地記念館というものがあります。記念館では「奥の細道」の解説や松尾芭蕉関連の資料の公開、それに関係する全国の設備の紹介などが行われています。芭蕉館、先賢館、観光・交流館の3つに分かれていて、それぞれ違う楽しみ方ができます。ぜひ1度訪れてみてください。